

衆楽園と津山城、どう連携させる

新政クラブ 森西順次



質問 衆楽園には年間どのくらいの観光客が来ているのか。津山城とどう連携させていくのか。津山城を市のシンボルとしてどのように全国に情報発信していくのか。

答弁 衆楽園の観光客数は十年度が十七万五千人と推計しており、ここ数年横ばいから微増の状態。無料開放と大型バスの駐車場が整備されたことで安定的に来訪していると考え、津山城との連携については、観光客の回遊性を高めるために観光案内板を新設したほか、観光ルートの提案や歴史的な話題、季節の花情報などを一体的に情報発信していきたい。津山城の整備では石垣の修復や樹木伐採、説明板の設置、動物園舎の撤去などに取り組んでいく。観光客への対応としてはボランティアアガイドの研修を行っている。

五輪原風力発電事業の取り組みは

新風会 森岡和雄



質問 加茂町五輪原の風力発電事業について、市長として、市としての取り組みは。保安林の解除に向けては。市長 市では市地域新エネルギービジョンを策定し、風力発電や太陽光発電

システムなど新エネルギー導入の推進を政策として掲げている。これらの事業の円滑な推進が図られるよう今年二月、知事に要望書を提出した。今後は再生エネルギー法が成立したこともあり、事業を進めていく上で最も効果的なタイミングを見計らうべきと考えている。事業が円滑に進むように引き続き関係機関との連携調整を行うよう指示しており、私自身も動いていきたい。保安林解除の申請窓口は県、許認可は国の権限。市の担当者は県の関係部署に何度も出向き情報収集するなどできる限りの支援をしている。

暴力団排除条例を本当に活かす施策を！

日本共産党津山市議員 末永弘之



質問 新クリーンセンターを領家で事業推進する決意とのことだが、最低でも申請書・覚書を公募条件に合致させるのが宮地市長らしさではないのか。
答弁 検証でも報告したが、申請書の記

載誤りなどは、その後の混乱の一因であるが、客観的に判断したときに、白紙に戻す結論に達することはできない。覚書は見直しを行い地元と協議をしている。

質問 誰が暴力団かわからないのに、市民に「利用するな」とか、市は「公共事業の指名をしない」と決めても、無理であり、実現できないではないか。

答弁 暴力団とわかっていない人を利用しないようにする。津山市は名簿がない限り警察に報告していく。
質問 指名願いが出されたときに、警察にチェックしてもらい、条例に抵触する業者を排除するよう要望する。

震災後における津山市の舵取り策

津山誠心会議改革クラブ 田口慎一郎



質問 震災による市の財政への影響は。
答弁 市民税や国の交付金等の減小で更に厳しくなることが予想される。
質問 学校での防災教育の考え方と対策は。

答弁 避難経路や避難場所の再点検を実施。土砂崩れ等の二次災害も想定した訓練や放射能・津波なども教えていく。子ども達が自分で判断し避難できる力をつけていくことが大きな課題。

質問 放射能汚染など食材の安全対策は。
答弁 地場産の選定基準を統一している。使用食材は全て記録管理している。

質問 職員の被災地派遣をどう考えるか。
答弁 市職員として、新たな使命感と問題意識を持つなど貴重な経験である。

質問 危機管理対策の方向性は。
答弁 本年度中に向けて危機管理指針及び危機管理計画の策定中。組織再編は限定せず全庁的取り組みとしたい。